

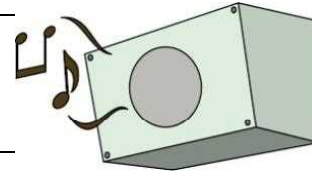
太宰府中学校2学年だより

No.9

R1.5.31

文責：石橋 眞子

チャイムがない学校



先日、内科検診が行われました。検診には時間がかかるため、特に女子の皆さんは長い間待たされることになりました。それでも、静かに待っている皆さんの姿を見て、いろいろな先生方が「2年生落ち着いていますね、素晴らしい」と褒めていらっしゃいました。待つのも随分疲れたでしょう、よく頑張りましたね。

また、早く終わった男子も静かに自主勉強に取り組んでいました。2年生全体の「落ち着いた姿」、前回よりもまた大きく成長しましたね。（写真取り損ねました…悔しい!）

さて、この日は一日チャイムが鳴りませんでした。「時間を見て行動しましょう」との呼びかけで、皆さんも意識して行動していました。

チャイムがないと、学校が静かに動きます。これもたまにはいいな…と感じました。それで、急遽「チャイムがない学校ってどんな学校なんだろう…」と、調べてみました。

すると、実際に、「チャイムがない学校」がありました。記事を読んで「なるほど…」と感じました。

- チャイムをなくすことで「自分で考えて行動する『自調自考』」の力をつけさせる。
- 自由や自主性は大事だが、「嘘をつかない・だまさない・真面目に努力する」ことが条件である。この高い心がけを持つことが大事である。

この考えは、うちの学校にも同じことが通じると思います。そして、先述した皆さんの姿は、まさに『自調自考』の姿に近いものだと思います。

『自調自考』の姿が身につくと、様々な能力が伸びることも書かれています。右の記事は学力をあげていますが、運動の能力も伸びるといわれています。（事実、数多くの研究成果が出ています）



来月は中間考査がおこなわれ、また中体連大会も始まります。皆さんが持っている「良さを持ち味の『成長株』」を、これらの場面でさらに磨きをかけてほしいと思います。

…中高一貫校の人気の高い。主な理由は国公立大や医学部など、難関大学への進学率の高さだ。そんな中高一貫校の中から、今急成長を遂げている学校に注目した。



まず挙げたいのは、渋谷教育学園幕張（千葉）だ。2007年のデータでは、男子御三家の武蔵（東京）や女子御三家の雙葉（東京）と並ぶが、東大の現役合格者数は41人と群を抜く。「難関大+医学部現役合格率」も27.1%と高い。1983年創設で、まだ新しいが、東大合格者数では県立千葉を02年に抜き、05年以来、千葉トップの座を譲っていない。13年度は、過去最多の東大合格者数61人を記録した（浪人含む）。

急成長の中高一貫校だ。田村哲夫校長は、好調の要因をこう語る。「30年前、新しい学校をつくる際に教育目標を立てました。『自調自考』『高い倫理観』『国際人であれ』の三つです。その教育目標を掲げ、地道に活動してきたことが花開いたのではないのでしょうか」

教育目標の一つ、自分で調べて自分で考えるという「自調自考」は、同校の柱。それを象徴するのが開校以来、「チャイムがない」ということ。生徒自ら考えて行動すればいい、チャイムで縛ることはないとの方針からだ。

同校では生徒の自由に任せ、自主性を尊重するが、それに必要な条件が、二つ目の教育目標「高い倫理観」をもつことだという。「自由や自主性は大事だが、それには条件があります。嘘をつかない。騙さない。真面目に努力する。そういう考えをもった人は自由に行動していい。高い倫理観をもつことは非常に大事なことです」（田村校長）

※週刊朝日 2013年8月30日号（一部抜粋）

★飛梅タイムが始まりました。

太宰府中学校には、地域の方と共に、地域の良さを学ぶ取り組みが多数あります。その一つが「飛梅タイム」という活動です。

飛梅タイムには、箏や太極拳、写真などの技能習得の講座や、太宰府の歴史を学んだり、太宰府の良さを地域に発信する講座などもあります。先日、そのオリエンテーションが行われました。



飛梅タイムは、2・3年生と一緒に学びます。また、学習成果を文化祭で発表します。10月末までの活動ですが、どのコースになっても、教えてくださる方や、準備して下さる方々に感謝して、楽しんでください。

